

# わどまり

2021.5 / No.375

沖永良部島 和泊町広報誌

いろいろな働き方



## はじめに

令和3年度は、町民の福祉の向上に直結する必要性の高い施策を進めつつ、新たに策定された「第6次総合振興計画」の着実な推進と、「SDGs（持続可能な開発目標）」の理念を踏まえた、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりの実現に努めてまいります。

## 1 活力ある産業の振興

## ① 農業の振興

さとうきびは、順調に生育し、糖度は前期よりも高くなっています。高単収・早期高糖・地域環境に適した品種の選定や栽培管理の励行等を推進し、また、農作業受託者連絡会の充実を図つてまいります。

バレイショは、巣ごもり需要の拡大により安定した価格で推移しました。引き続き、生産者の収入安定につながるよう関係機関と連携してまいります。

花きは、外国産切り花の輸入が減少したことで、安定した販売となりました。「えらぶの花推進協議会」を通じて、PR活動を行うとともに、価格安定と予約相対の向上を図ります。

また、台風等の自然災害に備え、鉄骨平張施設等の整備を推進してまいります。

畜産は、新型コロナの影響を受け、5月に子牛価格が暴落しましたが、内食需要が増え牛肉消費も持ち直したことから、価格は安定しております。機械導入、優良繁殖雌牛の増頭を図つて

まいります。また、「畜産未来創造プロジェクト事業」と「エラブ黒牛で育むわどまりの子事業」により畜産業の魅力を発信し、将来の後継者確保に努めてまいります。

輸送コスト支援事業は、農林水産物の移出と原材料等の移入コストを支援し、生産振興を促進してまいります。

畑かん営農推進については、通水面積が拡充していることから、畑かんマイスターの出前講座や、サンサンテレビでの「畑かん営農チャンネル」の放映など情報提供を積極的に行います。

地域農産物の高付加価値化を図り、「島もの」の有効活用と消費拡大を推進するため、加工技術や情報の提供を行います。

## ② 農業農村整備

国営沖永良部土地改良事業の地下ダム本体工事が、令和3年度に竣工予定です。また、国営事業に附帯する県営区画整理事業12地区で全ての工事が完了しました。畑かん施設整備事業も全地区が順次整備されつあり、農作業の効率化や水利用推進により增收が期待されます。

一方で、事業完了から30年を超えた整備地区においては、漏水や故障が発生しているため、更新事業導入を推進してまいります。

また、土地改良施設について、引き続きハザードマップ等を作成してまいります。

## ③ 林業の振興

森林環境譲与税を活用し、各学校施設へ木材製品の導入や森林整備を行い、木育の推進及び森林機能の保全を図つてまいります。

水産加工品の商品開発及び販路開拓が急務となつてていることから、新たな商品開発のため

まいります。また、専門知識を有する地域おこし協力隊を1名採用予定とし、募集しております。

## ⑤ 商工・観光・地域経済活性化

商工業では、町民の活力を取り戻すことなどを目的とした各種イベントの実施へ向け、充実した事業の実現への支援を講じてまいります。

新型コロナの影響で落ち込んだ宿泊事業者・飲食事業者や物産事業者、観光体験プログラムを提供する事業者等の業績の回復に向けた事業展開を進めてまいります。

観光振興では、旅行やビジネスで来島された方が、アンケートにモバイル端末で回答し、それをリアルタイムで集約するモニタリングシステムを整備しました。これにより客観的なデータの収集と分析が可能になり、強みや弱みを顕在化し、今後の政策立案につなげていく体制づくりを進めてまいります。

また、おきのえらぶ島観光協会と連携し、島の資源を活用した着地型体験観光メニューの造成を進めており、ウイズコロナ・アフターコロナの時代に向けた観光振興につなげてまいります。

地域経済活性化では、友好都市である沖縄県今帰仁村とのわらんちゃんバル体験交流プロジェクトの更なる充実と、両地域の農産物を活用した給食食材交流、北山王・えらぶ世之主シヨン活動に取り組んでまいります。

## ② 家庭教育の充実

「基本的生活習慣の確立」「学習意欲の向上」に関するツールを活用した沖永良部島の認知度向上・交流人口の拡大を図るためのプロモーション活動に取り組んでまいります。

「家庭学習60・120運動」を推進してまいります。また、子育て講座の実施や家庭教育学級等の充実に努めてまいります。

## ③ 社会教育の充実

生涯学習の推進は、中央公民館を学習の拠点、人づくり・まちづくりの拠点として、学習内容の充実に努めてまいります。

芸術・文化及び文化財については、郷土の貴重な文化資源の調査研究・保存活動を継続的に実施し、文化財や伝承芸能を取り入れた郷土教育や、観光資源などとして幅広く活用するための取組を進めてまいります。また、方言のか

## 2 教育文化の振興と心豊かな人づくり

## ① 学校教育の充実

1人1台整備する情報端末等のICT活用

した教育、プログラミング教育など社会変化に対応した教育を積極的に推進してまいります。

「いじめや不登校、問題行動等」、生徒指導上の課題に、関係機関と連携しながら積極的に取り組んでまいります。また、スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーの活用による教育相談体制の拡充にも努めてまいります。

「郷土で育てる肝心の教育」と併せて、児童生徒が自己の生き方や他者の関わりを通して行動できる力を身に付けられるよう、「考え方、体制づくりを進めてまいります。

さらに、教科体育や体育的行事等の充実を議論する道徳」の充実を図つてまいります。

「家庭学習60・120運動」を推進してまいります。また、子育て講座の実施や家庭教育学級等の充実に努めてまいります。

## ② 家庭教育の充実

生涯学習の推進は、中央公民館を学習の拠点、人づくり・まちづくりの拠点として、学習内容の充実に努めてまいります。

## ③ 社会教育の充実

芸術・文化及び文化財については、郷土の貴重な文化資源の調査研究・保存活動を継続的に実施し、文化財や伝承芸能を取り入れた郷土教育や、観光資源などとして幅広く活用するための取組を進めてまいります。また、方言のか

向けて本格的に取り組んでまいります。

スポーツの振興は、スポーツ活動等の拠点となる総合交流アリーナ建設事業計画を、着々と進めてまいります。

### 3 社会福祉等の充実

#### ① 健康の増進

病気の早期発見・早期治療を促進するため、各種がん検診等の更なる受診率の向上に努め、健康相談や介護予防教室等を開催し、意識改善に努めてまいります。

また、妊娠や出産、育児期を通じた切れ目のない継続的な支援ができるよう「子育て世代包括支援センター」の設立に努めます。

国民健康保険事業については、県の運営方針に基づき、適正な資格管理、保険給付、保険税率の決定、保健事業等を実施し、健全な財政運営に努めてまいります。

後期高齢者医療については、長寿健診や健康増進事業の充実に努めながら、高齢者が安心して医療を受けられるよう努めてまいります。なお、新型コロナウイルス感染症については、町民への正確な情報提供と感染防止対策に努めるとともに、ワクチン接種については、国や県及び医療機関等と連携を図りながら、「新型コロナワクチン接種対策班」を設置し、希望者に速やかに実施できるよう取り組んでまいります。さらに、難病患者については、島外で治療を受ける場合、旅費を助成するなど経済的及び精神的負担の軽減を図ります。

#### ② 福祉の増進

高齢の方方が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、介護予防認知症対策、「みじらしやエリアプロジェクト」の各事業を推進す

るとともに、「地域包括ケアシステム」の推進・

介護人材の育成等に取り組んでまいります。

障害者福祉は、身近な相談支援の充実などの施策やサービスの充実を図るほか、障害者の自立に向けた支援を推進してまいります。

#### ③ 児童福祉の充実

高校生を含めた子ども医療費助成事業等を実施するとともに、引き続き保護者が子育てと仕事の両立ができるよう支援を実施します。

また、ファミリーサポートセンター事業の充実、児童虐待防止のための取組等とともに「もう一歩、ふでいらさープロジェクト」の具体的な取組として、子育て応援団アドバイザーを依頼し、親子ものづくりイベントを実施するなど、地域の実情に即した事業を行ってまいります。

老朽化が進んでいる有機物供給センターの施設補修、液肥散布車の購入など施設の充実を図ってまいります。

### 4 交通基盤等生活環境の整備

#### ① 交通基盤の整備

通学路への歩道設置や道路の改良・舗装補修工事、老朽化した橋梁の改築修繕、防災対策として無電柱化事業を推進してまいります。

#### ② 上水道事業

施設の維持管理と老朽管更新事業に取り組み、企業会計の更なる経営健全化を図りながら、料金体制の見直し等を含めた長期的な財政状況計画の策定に取り組んでまいります。

水道施設や管路等の情報を電子データ化し、維持管理及び計画的な更新、適切な資産管理を目的とした事業を行います。

#### ③ 下水道事業

農業集落排水事業で整備された和泊中部地区を公共下水道地区へ統合することとしておりま

また、農業集落排水事業においては、和泊仁

嶺・城地区の耐用年数を超えた機器類の更新事業を行ってまいります。

さらに、令和5年度からの公営企業会計適用に向けた法適用移行支援業務委託を実施しております。

世の主団地の建設、空き家の利活用や危険廃屋解体撤去を推進するとともに、建物の長寿命化を図りつつ、住民の安全の確保と住環境の整備に取り組んでまいります。

#### ④ 住宅整備事業

世の主団地の建設、空き家の利活用や危険廃屋解体撤去を推進するとともに、建物の長寿命化を図りつつ、住民の安全の確保と住環境の整備に取り組んでまいります。

新有線テレビは、委託事業者と連携して、番組を提供できるよう取り組んでまいります。

ふるさと納税の有効活用に努めるとともに、ファンやリピーターを増やす取組を実施してまいります。

#### ⑤ 生活環境衛生

宴席での「食事時間3010運動」の推進、エコバックによる買い物の推奨等、循環型社会の構築・生ごみの減量化に努めてまいります。

老朽化が進んでいる有機物供給センターの施設補修、液肥散布車の購入など施設の充実を図つてまいります。

近年SDGsの理念や取組が推進されており、本町では、「持続可能なまちづくり町民3大運動」を策定し、展開しています。

#### ⑥ 環境にやさしい循環型エコのまちづくり

近年SDGsの理念や取組が推進されており、本町では、「持続可能なまちづくり町民3大運動」を策定し、展開しています。

#### ⑦ 安心・安全なまちづくり

引き続き犯罪の未然防止のための啓発や、交通事故の削減に向けての取組を強化します。

避難所等における新型コロナの感染拡大防止を図るための備品の充実、防災行政無線施設の適切な維持管理に努めてまいります。

その他、安心・安全を提供できるよう、和泊町消防団活動の充実に努めてまいります。

#### ⑧ 共生・協働のまちづくり

地域の課題解決に取り組む「コミュニケーションラットフォーム整備促進事業」の活用を検討し、集落や団体間の連携の推進、地域リーダーの養成などに積極的に取り組みます。

⑨ デジタル化の推進及び新有線テレビの維持

タブレット端末を活用したWEB会議やペ

ーバーレス化の推進、A-IやRPAを活用した業務改革、キャッシュレス化や電子申請による

住民サービスの向上など、急速に進化・拡大するデジタル社会に対応してまいります。

### 5 財政事情及び各会計予算

#### ① 財政事情

社会資本の整備や既存施設の維持管理、高齢化の進展による扶助費等の増大が見込まれるなか、機能的かつ簡素で効率的な行政運営に向けた取組を推進していく必要があります。

#### ② 一般会計予算

令和3年度一般会計予算の総額は、対前年度比1億5372万7千円(2.5%)増額の63億4898万1千円となりました。

#### ③ 特別会計等予算

区分会計名	予算額
国民健康保険	1,091,277
介護保険	958,710
後期高齢者医療	91,643
下水道事業	257,044
農業集落排水事業	230,361
奨学資金	10,289
水道事業(収益的事業)	181,003
計	2,820,327

※ 水道事業会計の資本的事業は除く。 [単位:千円]



# いろいろな働き方

農業や漁業などの第一次産業就業者の割合が30%を超える和泊町。

全国で約4%。農業王国と言われる鹿児島県全体でも10%に満たないことから考えると、この数字は驚異的である。そんな第一次産業の島だから生まれる声なのか、「島には就きたい職がない」「職種が少ない」といった話を耳にすることがある。果たして本当にそうなのだろうか？インターネットの発達やコロナ禍によるリモートワークの普及などにより、仕事は場所を選ばなくなってきた。ワーケーションという造語が生まれ、「休暇を取りながら柔軟に働く」という新たな働き方が誕生した。そんな中、自らの技術や経験を生かしながら、今まで島ではあまり見かけなかった「いろいろな働き方」を島内で実践している人たちがいる。

## 好きな場所で、 好きな仕事を。

「地域おこし協力隊」という制度をご存知

だろうか。人口の減少や高齢化の進行が著しい地方で、地域の活性化や暮らしなどに興味

のある都市部の人材を積極的に受け入れ、地域の維持・強化を図っていくことを目的とした制度となっている。広告デザイン会社での勤務経験を持つ並木建吾さんは「島をデザインの力でPRすること」をミッションとした地域おこし協力隊員として、2019年7月からこの島で働いてる。

同時に、退任後の定住を視野に入れ、副業としてデザイン事務所を立ち上げた。島内事業者との仕事だけでなく、リモートワークによる島外の仕事も多い。

### 地域おこし協力隊と移住のきっかけ。

ひとことに地域おこし協力隊といつても、

地域との関わり方は様々。並木さんは、都市部で身についた技術を活かし、特定の仕事に従事する「ミッション型」というスタイルで働いている。役場に身を置き、広報誌の制作や農業祭のポスター・デザインなど、自治体が取り組む仕事の告知・広報をデザインの力でサポートしている。

想像していたより、多くの仕事依頼をいただいてビックリしています。着任前は暇だったらどうしようかと思ってました。自分の好きな仕事であるデザインが島の役に立つ可能性があることを知り、少し安心しました。」

地域おこし協力隊着任前は、美術大学を卒業し東京の広告デザイン会社に勤務していた。協力隊の募集が全国規模で行われている中で、なぜ沖永良部島・和泊町を選んだのだろうか。

「海のない埼玉県で育ちました。会社員時代の楽しみは、長期休暇をとってビーチリゾートに行くこと。海が近い、島ぐらしに強い憧

れがあつたんです。40歳を過ぎて、好きな場所に住みたいという想いが強くなり、離島移住を決めました。偶然そのタイミングで、デザインをミッションとした協力隊を和泊町が探していることを知ったんです。」

地域おこし協力隊制度には、隊員が移住・定住することによる過疎化対策という一面もある。並木さんは、協力隊任期終了後からの定住に向けて、副業として個人デザイン事務所を立ち上げた。元々同じ会社でデザイナーをしていました奥さまと協力して、島内外の仕事をしている。副業について聞いてみた。

### 定住のために。副業のデザイン。

「島内では、物産品のパッケージ・デザイン・店舗の看板・デザイン・名刺のデザイン・チラシや

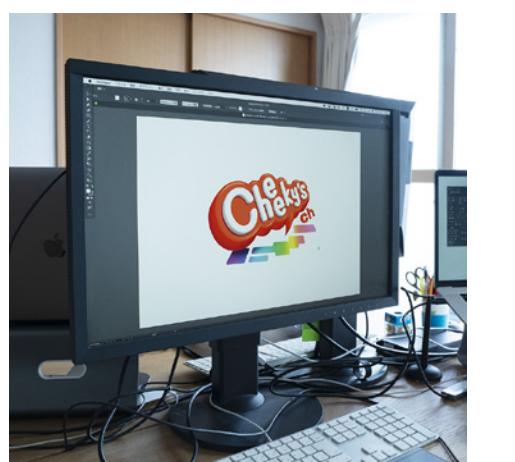
メニューのデザイン・新規事業の説明会用資料のデザインなどの依頼がありました。写真撮影のみの依頼も数件ありましたね。デザインの素材として写真を撮ることはありますが、僕はプロのカメラマンではないので、副業の副業といった感じでしょうか(笑)。島内の仕事は、顔を合わせて進めていくことが多いので、島の方々とつながる、いいきっかけになっています。」

島外からの仕事は、移住前のつながりから生まれた東京の仕事がメインとなっている。

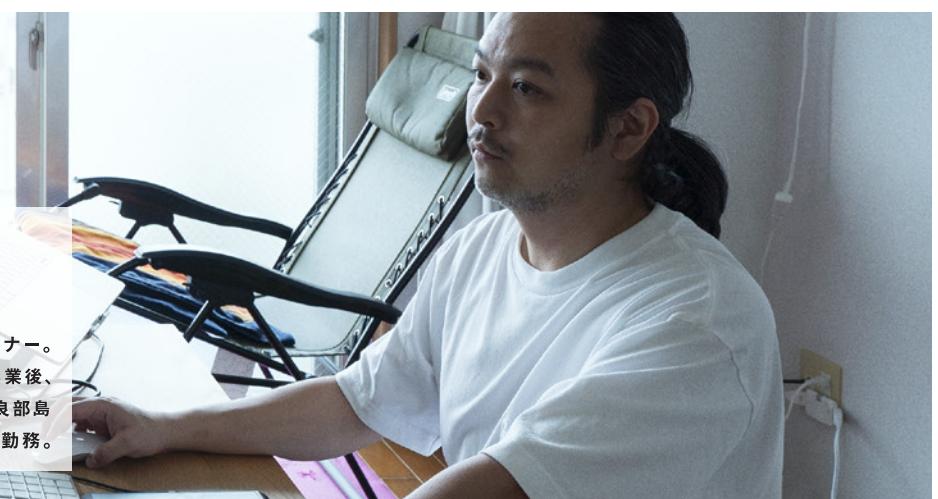
「1社の広告代理店と月単位の定額契約をさせてもらっています。定期的に仕事の依頼があるので、大変助かっています。その他に数社から不定期に仕事を頂いています。」

副業として受けた仕事の中で特に印象に残っている仕事も、やはり会社員時代のつながりから生まれた。「吉本興業が運営する、地域創生をテーマにしたYOUTUBEチャンネル『Cheeky's channel』(チーキーズチャンネル)』のロゴ制作に携わりました。私はとして地域創生のお手伝いができた事が嬉しかったです。」

島外の仕事はリモートで行っている。そのことについて並木さんはどう感じているのか。「実は『ZOOM』などのWEB会議システムはあまり使っていません。電話とメールがメインです。リモートワークが当たり前になる事で、沖永良部島にいても、もっと多くの仕事に手軽に出会えるようになればいいなと思っています。今後は沖永良部以外の奄美諸島や鹿児島県の仕事もしてみたいです。」



「Cheeky's channel」のロゴデザイン



#### PROFILE

##### 並木 建吾：KENGOKAMIKI

1977年埼玉県生まれ。アートディレクター・デザイナー。多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科卒業後、東京の広告デザイン会社勤務を経て、2019年沖永良部島に移住。現在、地域おこし協力隊として和泊町役場勤務。

# 課題から生み出した仕事。

「島にはもう戻つてこないかもしない。」かつて市来さんもそういった思いで島を出た一人だ。しかし、あるきっかけから島に戻ることを選択した。現在は、子供たちが将来に希望を持てる島づくりを目指し、地域課題に取り組む仕事を行い生活している。D-YOで改修した空き家を活用し、島内外者のための、サブリース（不動産賃貸における転貸）という形での居住地や宿泊施設にし、交流人口の拡大を狙う事業に取り組んでいる。

## 空き家問題を仕事に。

「Uターンする前は自衛隊で働いていました。災害派遣にも行きましたし、転勤も多かったです。加えて、妻とともに旅行が好きだったこともあっていろいろな所に身を置きました。でも島に帰ることはないだろうと思つていました。」

市来さんは自衛官として京都に配属されていました頃、修学旅行で来ていた沖永良部高校の学生たちの姿を見て、その輝きに圧倒されたという。

「生徒同士が男女の隔たりなく、仲良く遊んでいた純粋無垢な姿を見て衝撃を受けました。子供を育てるなら島がいいのかなと思うようになりましたね。島に帰つて具体的に何をしたい、というプランはなかったのですが、沖縄で勤務したあと島に戻りました。」



島の会社に就職し、根折字に家を構えた市来さんは、地域の子供たちのために遊び場を作れないかと考えるようになつたという。目をつけたのは、地域課題になつている空き家。根折字青年団の仲間と立ち上げた「みーやプロジェクト」と名付けられた活動は、空き家を再生し、子供たちの遊び場や人々が集う場所にするというもの。メンバーの手でD-YOで蘇った空き家は、現在「多目的空間みーや」の名前でコミュニティスペース兼一棟貸しの宿として、子育て世代の方々や来島者に使われる人気のスペースだ。

「とても勉強になりました。子供たちのために始めたプロジェクトでしたが、お金がない事にはなにもできないということを痛感しましたね。地域課題の解決に継続的に取り組むためには、ビジネスとして成り立たせる必要があると感じました。」

## 子どもたちの世代にエラブを残す。

独立し、島をリノベーション（手を加えて再生）することを理念とした会社「島リノベ」を立ち上げた。自らの手で空き家を再生した宿泊施設の運営や住居のサブリースなどを軸にした事業を展開している。

「宿泊業を始めたのも地域課題の解決と関係があります。店舗が長く空いたままだと治安や景観の悪化などに繋がります。また、内地の人と地元の人とが交流できる場所にしたいという思いもありました。」

宿泊施設の価格は極力おさえている。利用者を増やし、島外からの人を呼び込み、島の良いところが口コミで広がれば、移住に繋がりました。」



宿泊施設「47ホステル」の看板

り人口が増え、島も存続できる、という思っているからだ。

「今後は、人を呼び込むことをもっと進めていきたい。今は人を呼び込んでも住める家が少ない。だから、住める家をまずは作りたいと思います。」

現在は男性用シェアハウスの改修に着手している。今後は、介護にも活用できる物件や、家族向けの大きな物件も考えている。

「コロナ禍になつて、都会から脱出したいという流れやリモートワーク等が一気に加速したので、チャンスはあるなと思います。」

「他の人がやらない仕事だからこそ、自分がやる、というのもあります。何より、父親がやっている仕事を見た子供たちから『カッコいい』って言われたいから、貪欲に挑戦しています（笑）。大事なのは仕事にできるかどうか、最終的には今の子どもたちのためにエラブを残すということです。」

## 発信の起点は「個」。

母が沖永良部出身。祖母は今も島に住んでいます。水嶋健さんはそのつなぎで昨年8月に西原のしま暮らし体験住宅に引っ越ししてきた。

水嶋さんの肩書はライター。インターネットが発達した昨今においては、紙媒体だけでなくインターネット媒体に寄稿するライターも多く、水嶋さんもその一人だ。文章を書くことを生業とする傍ら、YouTubeを利用した、島の魅力の発信や、外国人実習生を支援する取り組みも行っている。

### 会社員から海外でライターへ。

水嶋さんはフリーランスのライターだ。企業からの案件や地域メディア・インターネットに掲載される記事の取材・執筆などに携わっている。文章を書き、生計を立てるることは容易ではないだろう。なぜライターという働き方を選んだのか聞いてみた。

「東京の会社でシステムエンジニアとして働いていましたが、一方でCMプランナーや構成作家といったクリエイターになりたいという夢を持つていたんです。人を楽しませるものを作りたい、という思いを燃がらせていました。ここでなら自分のしたいことができると思った会社への転職を試みたのですが失敗。失意の中、仕事を辞めて新天地でやり直そうと海外へ飛び出しました。その後、水嶋さんはベトナムの日系企業での勤務を経て、日本人の視点でベトナムでの

生活を発信する「べとまる」というウェブサイトを立ち上げ様々な記事を公開し始めた。「業界や特定の会社に入ることでクリエイターになれると思っていたんですが、それは他力本願な考え方ではないかと猛省したんです。自ら発信できるメディアを立ち上げたいと思うようになりました。」

水嶋さんは現地に暮らす人のインタビュー、観光地や食事・文化に関するレポートのほか、ドリアンの皮を鎧に見立てて装着したり、ダチョウに乗った様子をレポートするなど、異文化の人間が面白いと感じることを自ら体験し記事にした。自らが体いっぱいに感じたことを創作に込め、発信する。そうした水嶋さんの「個」を起点とした発露が、記事を見る人の興味を搔き立てる源泉だ。「べとまる」の記事は話題を呼び、様々な賞を受賞。日本やベトナムのテレビや雑誌でも注目され、徐々にライターとしての仕事が増えていったという。

### 島からさまざまなる発信を。

ベトナムを起点に仕事をしていった水嶋さん

だが、新型コロナウイルス蔓延に伴い、ずっと考えていた沖永良部島への移住を早めたという。働き方はどのように変わったのだろうか。

「島に移住してからYouTubeのチャンネルを開設しました。移住者の視点で島について感じたことを発信しています。YouTubeを見た方に声をかけていた大こともあり嬉しいです。一方で、引き続きライターとしての仕事がメインです。ありがたいことに島内外からお仕事を頂けています。

水嶋さんは農家と外国人技能実習生とのコミュニケーションとして捉え、クラウドファンディングで資金の調達とともに課題の発信を進めたところ、多くの共感を呼び、目標の2倍の資金を調達するに至った。ここでも「個」の感性を通じた発信が、人の心を打ち、また次の取り組みや発信につながっている。

水嶋さんは島に住むようになって、次のような変化を感じているという。

「自分のルーツである沖永良部島に住むようになって、「自分ごと」の範囲が広がったように感じます。環境や文化、住む人々について、都会では自分ごととして思えていなかつたことも、島では強く関わっていきたいと思うようになりました。」

水嶋さんの発信に今後も注目していきたい。



「GINO-T」指差しで意思疎通を図る仕組み。

からの依頼があります。島ぐらしをしている影響で、「移住」や「地域づくり」に関連するメディアからの依頼も増えてきました。水嶋さんは農家と外国人技能実習生との

コミュニケーションとして捉え、クラウドファンディングで資金の調達とともに課題の発信を進めたところ、多くの共感を呼び、目標の2倍の資金を調達するに至った。ここでも「個」の感性を通じた発信が、人の心を打ち、また次の取り組みや発信につながっている。

水嶋さんは島に住むようになって、次のような変化を感じているという。

**PROFILE**

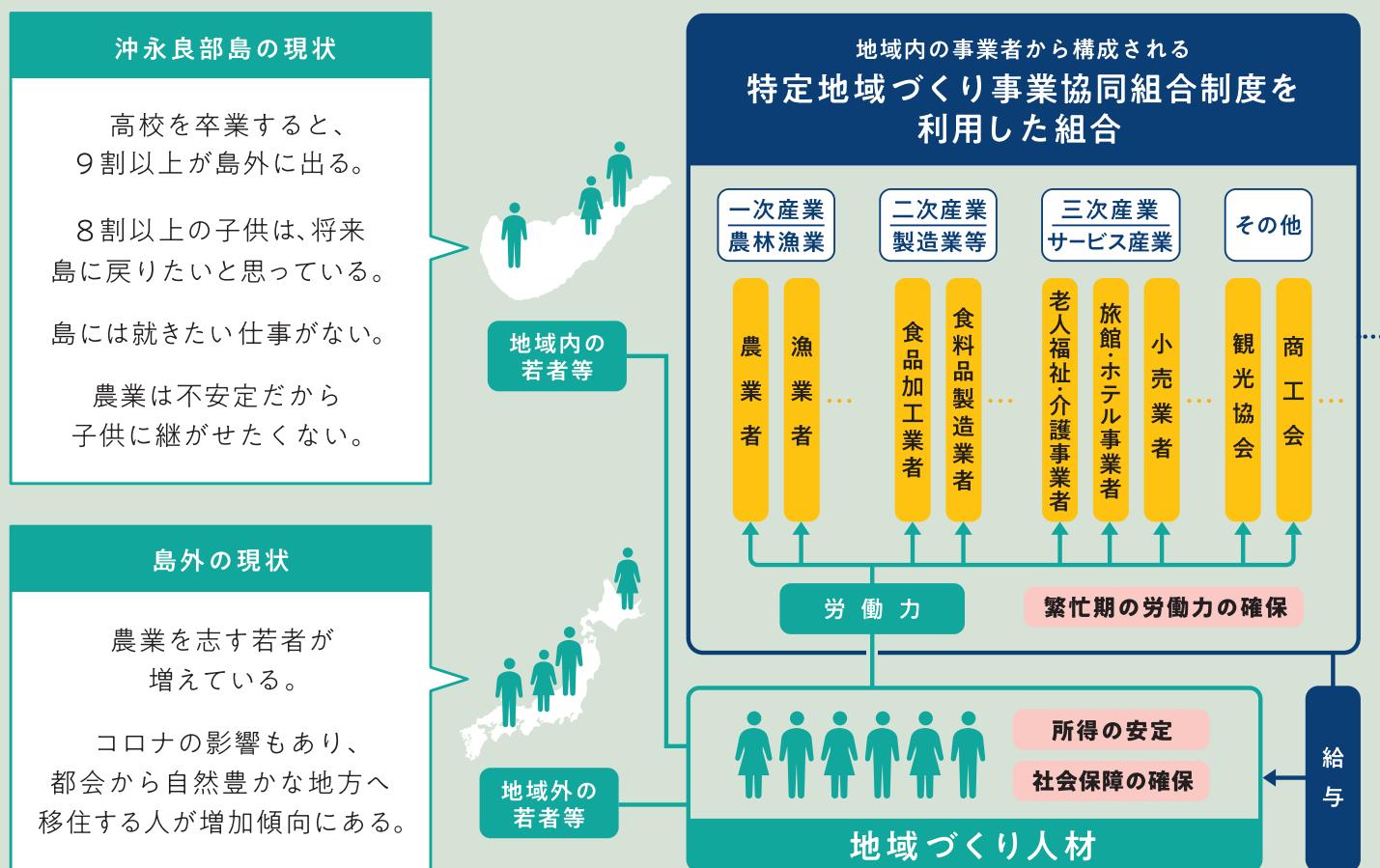
**水嶋 健 : TAKERU MIZUSHIMA**

1984年大阪府生まれ。ライター。「ネルソン水嶋」名義で活動。東京のIT企業でシステムエンジニアとして勤めた後、ベトナムに渡航。現地の文化を独自の視点で紹介するウェブメディアを立ち上げ、数々の賞を受賞。2020年沖永良部島に移住。

知っていますか?? いろいろな仕事といろいろな人々を結ぶ新たな制度

# 特定地域づくり事業協同組合制度

島が抱える課題として、事業者単位でみたときに年間を通じた仕事がないことがあります。特に農業や観光は時期によって必要な人手が異なります。そこで「特定地域づくり事業協同組合制度」では、地域全体の仕事を組み合わせることで年間を通して仕事を創出することを目指します。さらに組合を設立し職員を雇用し事業者に派遣することで、安定的な雇用環境や一定の給与水準が確保でき、結果として地域の担い手を確保することが想定されているのです。主な対象としては島内の若者や島外の若者が想定されており、島での働き方の新たな選択肢が増えるのではないかということで期待されている制度です。



## 沖永良部島の組合 えらぶ島づくり事業協同組合

和泊、知名両町の農業や食料品製造業、一般診療所、老人福祉・介護事業、ホテル、総合スーパーなどの8事業者が出資し、「えらぶ島づくり事業協同組合」を設立致しました。特定地域づくり事業協同組合制度を活用した労働者派遣事業は、鹿児島県で初の試みで、2町での取組は全国初となり注目を集めています。島内の異業種間で協力し、人材不足・後継者不足という共通の課題解決に向けて取組んでいきます。私達は共生・協働の精神で島に豊さと笑顔をもたらす事業協同組合を目指します!



事務局長  
きんじょうまさゆき  
金城 真幸

制度についてお気軽に  
お問い合わせください。  
携帯: 080-1081-3586  
Eメール: alove@e-mail.jp

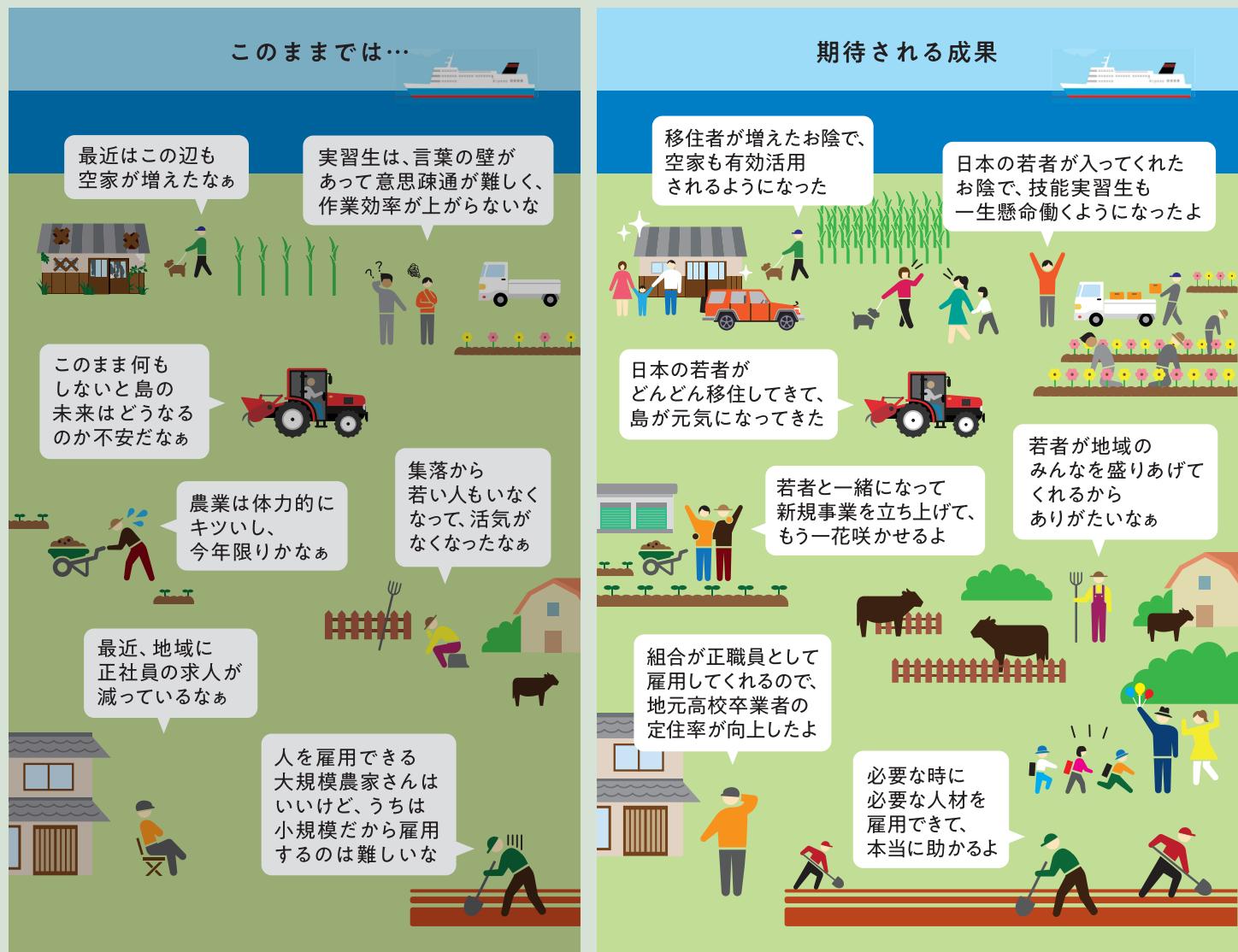
## 季節ごとの労働需要等に応じた柔軟な人材活用

事業者単体では年間を通じた仕事はなくとも、組合員間で労働需要等を調整することで、必要な時期にだけ人材を確保することが可能です。また、組合が雇用する職員の移住者や地元住民は、安定した雇用環境と一定水準の給与が確保されるので、安心してその地域で働き続けられます。

右図：一年を通しての派遣先業務の例 ▶

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Aさん			農業			食料品製造業				農業		
Bさん			農業			一般診療所				農業		
Cさん			農業			老人福祉・介護				農業		
Dさん			農業			旅館・ホテル				農業		
Eさん		食料品製造業			水産業		旅館・ホテル		食料品製造業			
Fさん		一般診療所			総合スーパー				一般診療所			
Gさん		老人福祉・介護		医療事務		デイサービス			老人福祉・介護			
Hさん		総合スーパー		調理関連		飲食業			総合スーパー			

## 特定地域づくり事業に期待される成果



農業や漁業、介護、保育など、多くの業種で人手不足が解消され、島の経済も活性化！

若者たちのアイディアで、新しいビジネスが次々に誕生し、島ライフが豊かに！

様々な仕事に従事できて収入も安定し、都会では味わえない『人にも喜んでもらえる』幸せを感じる。

# TOPICS



内城小学校



大城小学校



国頭小学校



和泊小学校い組



和泊小学校ろ組



城ヶ丘中学校



和泊中学校1組



和泊中学校2組

## 小・中学校入学式

4月6日、和泊町立小・中学校の入学式が行われました。和泊小学校47名・国頭小学校9名・大城小学校6名・内城小学校6名・和泊中学校55名・城ヶ丘中学校17名の合計140名の新1年生が学校生活の一歩を踏み出しました。

# TOPICS



## 和泊町・和泊町内郵便局 包括連携協定締結式

3月18日、和泊町役場2F会議室にて日本郵便(株)と包括連携協定を結びました。中島秀一 奄美地区統括局長や町内3郵便局長(和泊・国頭・内城)らが出席し、この協定締結を機に、和泊町内3郵便局と協力し、地域の安心安全な町づくりや子どもの育成、女性活躍の推進などに取り組んでいきます。



## 和泊町・今帰仁村 学校給食 食材交流プロジェクト

3月9日、和泊小学校5年生40人と沖縄県今帰仁村の今帰仁小学校5年生50人が給食時間にオンライン食材交流会を行いました。和泊町から今帰仁村へ約1,000食分のバレイショ「春のささやき」を送り、バレイショを使った、ポテトサラダとスープが給食に並びました。また、地元特産品のPRの一環として、和泊小学校5年生がプレゼンテーションを行い、今帰仁小学校との交流を深めました。今帰仁村からは6月頃にスイカが届く予定です。



## 鹿児島トヨタ 企業版ふるさと納税贈呈式

3月23日、和泊町役場結いホールにて「企業版ふるさと納税贈呈式」が行われました。第1号として鹿児島トヨタ自動車(株)が1千万円を寄付し、結いホールでは目録贈呈式を行いました。企業版ふるさと納税は、自治体が行う地方創生の取組に寄付した企業の税負担を軽くする制度です。今回の寄付金は、公共交通バスを使った出荷支援システムや買い物支援システムの実証実験の事業費として活用予定されます。



## えらぶ島づくり事業協同組合 設立総会

3月21日、和泊町役場結いホールにて「えらぶ島づくり事業協同組合設立総会」が行われ、創設組合員8事業者が出席しました。えらぶ島づくり事業協同組合は、和泊町・知名町の農業や福祉など地域の人材不足解消に向けた組合であり、特定地域づくり事業協同組合制度を活用した労働派遣事業は県内初の試みとなります。

# INFORMATION

総務課

## 令和3年度町職員人事異動

級	氏名	新職名	旧職名
課長級	南俊美	総務課長	総務課長
	東敏仁	経済課長	経済課長
	泉隆一	生活環境課長	生活環境課長
	和田清良	土木課長	土木課長
	亘禎一郎	耕地課長	耕地課長
	先山照子	農業委員会事務局長	農業委員会事務局長
	脇田直次	経済課参事兼課長補佐	経済課長補佐
	宮原芳實	土木課参事兼課長補佐	土木課長補佐
	大吉憲仁	企画課参事兼課長補佐	経済課長補佐
	先山直喜	会計課長	会計課長補佐
	山元博文	税務課長	企画課長補佐
	福永君子	国頭こども園園長	国頭こども園園長
	有馬清武	保健福祉課長	税務課長
	村榮初美	教育委員会事務局次長	教育委員会事務局係長
課長補佐級	田浦幸乃	税務課長補佐	耕地課係長
	三島和乃	大城こども園主任保育士	大城こども園保育士
	前誠	生活環境課長補佐	生活環境課係長
	和秀明	会計課長補佐	税務課係長
	大江吉郎	経済課長補佐	経済課係長
	朝戸浩一	保健福祉課長補佐	保健福祉課係長
	永山真奈美	内城こども園主任保育士	和泊幼稚園教諭
	長田留美子	和泊幼稚園教諭	町民支援課長補佐
	鼎亜由美	町民支援課長補佐	内城こども園主任保育士

○は昇格

級	氏名	新職名	旧職名
係長級	沖田浩幸	教育委員会事務局係長	教育委員会事務局主査
	谷山由美	教育委員会事務局係長	教育委員会事務局主査
	川畠哲也	耕地課係長	経済課主査
	西村直美	国頭こども園保育士	大城こども園保育士
3級主査級	柴雄紀	土木課主査	土木課主査
	森英仁	企画課主査	企画課主査
	菅村文雄	企画課主査	企画課主査
	大勝真由美	保健福祉課主査	保健福祉課主査
2級主査級	田代勇太	経済課主査	総務課主査
	津田美穂	保健福祉課主査	保健福祉課主事
	今井秀代	内城こども園保育士	国頭こども園保育士
	梶原景之	土木課主査	土木課主事
主事級	有林翼	総務課主査	総務課主事
	二宮慎悟	耕地課主査	耕地課主事
	三島才輝	総務課主査	大島支庁沖永良部事務所(割愛)
	前田啓至	税務課主査	企画課主査
派遣・研修	沖静花	企画課主査	奄美群島広域事務組合
	東山綾乃	大城こども園保育士	内城こども園保育士
	田仲啓泰	生活環境課主事	耕地課主事
	太剛志	鹿児島県奄美パーク	鹿児島県奄美パーク
再任用	八木大輔	鹿児島県後期高齢者医療広域連合	鹿児島県後期高齢者医療広域連合
	永山美智代	耕地課主査	
	大吉聰美	保健福祉課主査	

和泊町役場総務課 / TEL:0997-84-3511

教育委員会事務局

## 令和3年度町教職員人事異動

転出・退職者			
学校名	職名	氏名	地区
和泊小	教諭	谷山朋美	鹿市
	講師	神田みゆき	鹿児島市立鴨池小(教諭)
	講師	先田菜穂子	大島知名町立上城小(講師)
	講師	浦春奈	大島知名町立下平川小(講師)
	講師	較島実友	大島知名町立住吉小(講師)
	講師	鷺山伊織	大島龍郷町立円小(講師)
	講師	阿野愛	大島任期満了
	栄養教諭	城戸内麻子	大島和泊町立和泊小(栄教)
	専門員	内山由佳	鹿兒島市立坂元台小(専門員)
	教諭	東容子	鹿児島市立旭小(教諭)
大城小	教諭	高吉和人	鹿市
	教諭	鈴木凡子	北薩阿久根市立阿久根小(教諭)
	教諭	西口鷹仁	鹿児島市立山下小(教諭)
	教諭	松崎洋樹	在外日アムステルダム日本人学校
	講師	前依津美	大島和泊町立大城小(講師)
内城小	教頭	福元亮一郎	大隅教育事務所(指導主事)
	教諭	藤井康博	志布志市立伊崎田小(教諭)
	講師	大納正子	知名町立下平川小(講師)
	養護教諭	川畠和代	再任用退職
国頭小	事務職員	豊島丞一郎	大島徳之島町立母間小(事務)
	校長	脇田幸治	大島知名町立上城小(教諭)※定年退職・再任用
	教諭	東條雅恵	姶良市立国分小(教諭)
	教諭	村田彰	和泊町立國頭小(教諭)※再任用退職
和泊中	講師	新納美保	大島和泊町立内川小(講師)
	養護教諭	杉田まゆみ	大島龍郷町立大勝小(養教)
	校長	上久保大介	鹿市鹿児島市立桜丘中(校長)
	教諭	梶原景太	鹿児島日置市立伊集院中(教諭)
城ヶ丘中	教諭	諫訪免俊広	北薩摩川内市立川内中央中(教諭)
	教諭	七村憲弥	曾於市立財部南小(教頭)
城ヶ丘小	校長	内西浩子	鹿児島日置市立永吉小(校長)
	教諭	向江幸広	大島知名町立知名中(教諭)

転出・退職者			
学校名	職名	氏名	地区
城ヶ丘中	教諭	橋口光秀	鹿市鹿児島市立吉野東中(教諭)
	教諭	村山英哲	大島和泊町立和泊小(初任研)※再任用退職
転入者			
学校名	職名	氏名	地区
和泊小	教諭	水本沙織	南薩指宿市立丹波小(教諭)
	教諭	村山英哲	大島和泊町立城ヶ丘中(教諭)※再任用(初任研)
	教諭	鮫島玲奈	新規採用
	教諭	上村洋美	職務復帰:育休満了
大城小	教諭	城戸内麻子	大島和泊町立和泊小(栄教)
	事務主査	盛山智彦	鹿市鹿児島市立紫原中(事務)
	教諭	盛岡さとみ	大島知名町立上城小(教諭)
	教諭	外西直人	大隅大崎町立野方小(教諭)
内城小	教諭	柏木辰公	南薩指宿市立今和泉小(教諭)
	講師	前依津美	大島和泊町立大城小(講師)
	教頭	佐々木豊	大隅曾於市立財部南小(教頭)
	教諭	鳥丸愛子	大隅伊佐市立羽月小(教諭)
国頭小	講師	新納美保	大島和泊町立國頭小(講師)
	養護教諭	小山絢女	大隅鹿屋市立上小原中(教養)
	事務職員	赤谷幸	北薩さつま町立佐志小(事務)
	校長	中村健三郎	鹿児島市立向陽小(教頭)
和泊中	教諭	佐藤結花	北薩摩川内市立可愛小(教諭)
	教諭	村田彰	大島和泊町立国頭小(教諭)※再任用(フルタイム)
	教諭	石井原真紀	新規採用
	養護教諭	喜納早苗	新規採用
城ヶ丘中	校長	大野暁	南薩指宿市立北指宿中(教頭)
	教諭	八木妙子	新規採用
	教諭	清山肇	大島知名町立田皆中(教諭)
	教諭	荻田万博	北薩摩川内市立川内北中(教諭)

和泊町教育委員会事務局 / TEL:0997-92-0009

## 令和3年度から国民健康保険税の税率が改正されます!

国民健康保険制度は、医療費の増加などにより厳しい運用状況となっています。そのため、令和3年度から税率を改正することとなりました。

これまでの税率		
医療給付費分	所得割(%)	7.00
	資産割(%)	2.00
	均等割(円)	19,000
	平等割(円)	18,000
後期高齢者支援分	所得割(%)	2.30
	資産割(%)	5.50
	均等割(円)	8,500
	平等割(円)	7,500
介護納付金分	所得割(%)	1.50
	資産割(%)	2.20
	均等割(円)	8,000
	平等割(円)	5,500



改正税率		
医療給付費分	所得割(%)	7.00
	資産割(%)	廃止
	均等割(円)	27,000
	平等割(円)	18,000
後期高齢者支援分	所得割(%)	2.60
	資産割(%)	廃止
	均等割(円)	11,000
	平等割(円)	7,500
介護納付金分	所得割(%)	2.30
	資産割(%)	廃止
	均等割(円)	12,000
	平等割(円)	6,000

税率改正により、全ての国保世帯において税額が増加します。(所得、世帯要件により増加率は異なります。) 詳しくは、下記担当課までお問い合わせ下さい。

和泊町役場税務課 / TEL:0997-84-3514

和泊町役場保健福祉課 / TEL:0997-84-3517

### 経済課

## 宝くじ桜寄贈事業による 桜の植栽について

3月7日、大城字と役場職員組合の約70名で公益社団法人日本さくらの会が実施する『宝くじ桜寄贈事業』を活用し、石橋川沿いに120本の桜を植栽しました。この事業は、地域住民の憩いの場を築き、コミュニティ活動の充実と地域活性化のために実施されました。



### 総務課

## 和泊町長選挙について

告示日 令和3年6月22日(火)

投票日 令和3年6月27日(日)

時間:午前7時から午後6時

場所:[第1投票所] 和泊町防災拠点施設「やすらぎ館」

[第2投票所] 国頭研修会館

[第3投票所] 玉城字公民館

[第4投票所] 内城字公民館

### 期日前投票

期間:令和3年6月23日(水)から  
令和3年6月26日(土)までの4日間

時間:午前8時30分～午後8時

場所:和泊町役場「結いホール」

**町の大切な選挙です。  
棄権しないで必ず投票しましょう!**

和泊町選挙管理委員会・和泊町明るい選挙推進協議会

和泊町役場経済課 / TEL:0997-84-3518

和泊町役場選挙管理委員会 / TEL:0997-84-3523

# INFORMATION

耕地課

## 土地改良施設の事故や破損について

### 事故未然防止のために

土地改良施設(ため池等)において、車両等の接触が原因と思われるネットフェンスの破損を確認しています。全国的にため池や水路への転落事故が発生していることからも、一人ひとりの安全意識向上をお願いします。ネットフェンスは安全防護柵であり、倒壊等によりその機能を失うと、人命にかかる事故につながります。

事故等により破損した場合は、  
和泊町役場耕地課までご一報ください

ため池等、土地改良施設は地元要望により整備された皆様の大切な財産です。適切なご利用をお願いします。

和泊町役場耕地課 / TEL:0997-84-3519

総務課

## 行政相談委員について

令和3年4月1日付けで、田代吉信さんが行政相談委員に委嘱されました。行政相談委員は、皆さんのがんばりの身近な相談相手として、国・県・市町村などの役所の仕事や行政サービス、手続に関する相談を受け付け、相談者への助言や関係行政機関に対する改善の申し入れなどを行っています。相談は無料で秘密は守られますので、お気軽にご相談下さい。



行政相談委員  
たしろ よしのぶ  
**田代 吉信さん**

【連絡先】  
住所 和泊町国頭2915番地  
電話 090-4357-1988

和泊町役場総務課 / TEL:0997-84-3511

企画課

## 鹿児島県の最低賃金

守ってね！最低賃金。

鹿児島県最低賃金	
時間額	793円
効力発生日	令和2年10月3日
適用範囲	鹿児島県内のすべての労働者及び使用者に適用されます。

- 最低賃金には、次の賃金は算入されません。  
① 臨時に支払われる賃金(結婚手当など)  
② 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与など)  
③ 時間外・休日・深夜労働に対する割増賃金  
④ 精勤手当、通勤手当、家族手当

詳しいことにつきましては、鹿児島県最低賃金・鹿児島労働局HPをご覧になるか、下記連絡先までご連絡下さい。

鹿児島県労働局賃金室 / TEL:099-223-8278

鹿児島県地方法務局奄美支局 / TEL:0997-52-0376

# がん検診を受けましょう！

がんは、和泊町の死亡原因の第1位です!!左記の日程でがん検診が行われます。1年に1回は検診を受けて、異常の早期発見、早期治療に努めましょう。

## 【肺がん・結核検診】

日程：令和3年6月2日（水）～6月10日（木）

場所：各字公民館・役場結いホール

※4月区長会で受診票等を配布します。

## 【子宮頸がん・乳がん検診】

日程：令和3年6月17日（木）～6月22日（火）

場所：国頭研修館・玉城公民館・内城公民館

旧保健センター（予定）

※5月の区長会で受診票等を配布します。

・詳しい日時・場所・対象者・料金などは、受診票に記載されていますので、ご確認下さい。

・ご不明な点等は保健センターまでお問い合わせ下さい。  
(電話 0997-84-3526)

## 地域子育て支援拠点事業 (ほっとステーション)のご案内

育児不安などの相談を受けながら「子育ては楽しい！」を親子とスタッフが共感できるように、親子ふれあい遊びなどの活動を行い、保健師や栄養士による育児相談も行っています。また、毎月のお誕生日会や季節ごとの行事など楽しい催しも行っております。どの企画も自由参加ですので、お気軽にお越し下さい。

場所：和泊町旧保健センター  
開所時間：毎週(月・水・金曜日)午前9時～12時  
参加費：無料

詳しいことにつきましては、和泊町町民支援課までお問い合わせ下さい。(電話 0997-84-3516)

# 和泊町上下水道メータ－検針業務 受託者募集について



## 休日診療のお知らせ

令和3年度和泊町上下水道メータ－検針業務受託者を1名募集します。

募集期間：受託者決定まで

検針地区：手々知名字・和泊字（約1,350件前後）

※期間内に検針が完了できる場合は兼業も可能です。

募集要項：普通運転免許証が有効な方（年齢・性別は問いません）

問い合わせ人

検針業務期間：毎月1日から15日の間検針完了まで

※1日が休日の場合は前月の金曜日から

お申込は、生活環境課へ履歴書を郵送又は直接申込にてお願いいたします。

【お申込・お問合せ先】

住所：鹿児島県大島郡和泊町和泊10和泊町役場生活

環境課

電話：0997-84-3525

## 2021チャレンジデー日程変更 について

5月26日(水)に開催予定の「チャレンジデー2021」は、全国的な新型コロナウイルス感染症等の状況から、10月27日(水)に開催延期の予定となりました。詳しいことにつきましては、教育委員会事務局までお問い合わせ下さい。(電話：0997-92-0300)

## 奨学資金の寄附について

6/20	6/13	6/6	5/30	5/23	5/16	5/9	5/5	5/4	5/3	5/2	4/29	本部医院
福山医院	本部医院	大蔵医院	朝戸医院	町田医院	福山医院	本部医院	朝戸医院	大蔵医院	町田医院	福山医院	本部医院	

※ 変更になる場合があります。当番医院にご確認の上、ご来院下さい。

## COLUMN

永良部  
その土

# 内城泉川の谷に眠る 謎の古墓群

本連載（広報2020年3・7月号）で少し紹介済みですが、大字内城字泉川の谷では、1～9号（1号・世之主の墓「県指定史跡」・2号・チュラドウール「民間墓所」）までの掘込墓が確認されており、教育委員会の調査では泉川（イジンジョ）古墓群と呼んでいます。

令和2年度に実施した第2次町内古墓調査では、泉川古墓群一帯でUAV（ドローン等の無人航空機）による航空レーザー現地測量調査を行い、各墓の立地の状況を記録しました。令和3年度はその測量データを基に、地形の等高線と各墓の輪郭線を示した詳細な平面図、地形や構造物の凹凸を2次元で立体的に表現できる赤色立体地図（掲載の図は調整・フィルタリング前の図）などを作成します。これにより、泉川古墓群の全容が記録されると共に、世之主の墓を中心とした同古墓群の地形利用の詳細が明らかになり、「沖永良部島の古墓群」国指定に向け、また一步前進です。その他、各墓の詳細調査等も予定していますので、今後も町内古墓調査からますます目が離せません。



赤色立体地図イメージ(泉川古墓群)



9号墓の内部

お願い　泉川古墓群の各墓の所有・使用者などの情報については、まだまだ不明点ばかりです。ご先祖様からお話を伝え聞いていたり、古墓群について何かご存知の方は、町教育委員会事務局までぜひご一報ください。

# 元気！わどまりクラブ通信！



3月13日(土)あかね文化ホールでダンスチーム「AIR MOVER」「FEED BACK」初となる発表会が行われました。「AIR MOVER」は令和2年度を持ちまして、活動停止することになりました。引き続き「FEED BACK」は活動して行きますので、応援よろしくお願いします。多くの皆様にダンスを披露し、少しでも元気を与えることができたなら幸いです。今までありがとうございました！しつい、みへでいろどー。

令和3年度 元気！わどまりクラブ会員募集中!!  
くわしくは、下記「元気！わどまりクラブ事務局」までご連絡下さい。



## 第63回「子どもの読書週間」の本棚

4/23(金)から5/12(水)は「子どもの読書週間」です。昭和34年にはじまったこの取組は、子どもに良い本を届け、本を読む楽しさを経験させ、大人にも子どもの本のおもしろさを伝えることを目的としております。



## 『コートニー』

作:ジョン・バーニンガム / 訳:たにかわ しゅんたろう

「犬がほしい」という子どもたちが野犬収容所から連れ帰ったのは、よぼよぼのおじいちゃん犬“コートニー”。子どもたちの両親は、血統書付きではない犬に呆れ顔。しかし子どもたちの「コートニーはすてきだよ」という言葉通り、料理が得意でバイオリンを弾き、赤ん坊を上手にあやします。穏やかな日々を過ごすなか、ある日突然コートニーが…。切ないけれど優しい気持ちになれる絵本です。



## 『としかんライオン』

作:ミシェル・ヌードセン / 絵:ケビン・ホークス

ある日、図書館にライオンがやってきました。ライオンは図書館の中をゆっくり歩き回り、おはなしの時間には静かに聞いていました。ところが、おはなし終わったら大きな声でほえたので、館長のメイウェザーさんに決まりを守るようにと注意されて…。いつのまにか図書館の人気者になるライオンの姿が、見る人の心を楽しくさせる絵本です。



## 『西の魔女が死んだ』

著:梨木 梨歩

学校が窮屈になった少女まいは、田舎のおばあちゃんこと“西の魔女”的もとで暮らすことになりました。魔女になる基礎訓練は「早寝・早起き。食事をしっかりとてよく運動し、規則正しい生活すること」。退屈に思えた“西の魔女”と過ごす日々は実際に魅力的で、まいは自分の中に生まれた変化に戸惑いながら前に向いていく…。「自分で決めて生きること」の大切さに、向き合うきっかけになる一冊です。



## イベント

- 「子どもの本の福袋」4/20(火)～5/9(日)
- 「貸出冊数の拡大」4/20(火)～5/9(日)
- 「春のおはなし会」4/25(日)
- 午前10時30分～11時30分
- 「春の古本市」5/2(日)
- 「図書館クイズラリー」5/5(水)午前10時～12時

## 新着本 / 一般書

『Au オードリー・タン』著者:アイリス・チュウ
『本当はごはんを作るのが好きなのに、しんどくなった人たちへ』著者:コウ ケンテツ
『おはなしごほん』著者:大川 久乃
『ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人』著者:東野 圭吾
あたらしくはいったほん / じどうしょ
『ゾンビの子』かいたひと:チョ ヨン
『ピンポンパンポンブー』かいたひと:劇団ひとり・中居 正広

## 『みそしるをつくる』かいたひと:高山 なおみ

## 『わかってるって』かいたひと:しもかわら ゆみ

## 『引くえもん』かいたひと:藤子・F・不二雄

## 寄贈書

『奄美群島の名字・今昔』寄贈者:徳之島郷土研究会 松山 哲則

『いつでもどこでも耳がよくなる』他32冊 寄贈者:入江 秀子

『Doctor Story』寄贈者:ジェフリー・S・アイリッシュ

『あきない世傳⑨』他 3 冊 寄贈者:菅村 芳郎

※この他にもたくさん配架してます。

和泊町立図書館

TEL:92-3033 / FAX:92-0773



- 休館日は月曜日と一部祝日、そして毎月最終週の木曜日(整理休館日)です。ご理解とご協力ををお願いいたします。詳しくは、町立図書館のホームページでご確認下さい。
- 4月から9月末まで、開館時間は午前10時～午後6時30分となります。

# 21のお話

## 第5回「後蘭字」のお話

「ふとうしつくたぬめーや しーしだーまー  
ぬないしゅさ さっさー」島に古くから伝わる民謡「作たぬ米」。「今年できたお米は、獅子玉のように素晴らしいよ」という意味である。後蘭集落では、米作りの技術とそれにまつわる伝統文化を後世に継承しようとの目的で、4年前から地区の有志で米作りを始めた。昭和35年、和泊町にも250haの水田があり、当集落は町内最大の水田地帯であったが、国内におけるコメ余り現象により、国の水田転換政策が行われた。昭和40年代後半から島内の水田はすべて畑地へと転換され、現在のサトウキビ・輸送野菜・花き・畜産を4本柱とする島の農業形態に至っている。小字名時田と呼ばれる旧苗代水田跡の2枚の田んぼ7aを準備して、代掻き、種まきから精米作業まで、すべての作業が初体験ながら実施した結果、1年目から思った以上の収穫を得ることができた。地域の子供たちを集めて収穫の喜びを分かち合い、出来たもち米で餅をつき、そして、昔のめーらび達による「作たぬ米」「稻すり節」の歌と踊りで収穫祭は盛り上がりを見せた。そのもち米は役場新庁舎の上棟式にも使用された。こうして、かつての島の豊かな暮らし・歴史・文化は未来を担う子供たちへと伝えられた。



稲刈りの様子

島の歴史は外部からの働きかけによつて、だんだんと移ろつていった。外から上陸して来た人々や文物や生活文化など、多様な要素を島民は戸惑いながらも、ゆっくりと時間をかけて取り込んでいった。11世紀ごろ、長崎産出の滑石を運ぶ海の商人たちが島にやつて来た。彼らは時には奪略者であった。

当時のアジ(豪族)たちは村人を守るために、彼らの上陸に備えて武装しながら、交渉も行つたであろう。友好関係が生まれれば、新しい道具など手に入れて、勢力を強化することができる。

13世紀ごろには、こうした有力なアジたちが島内の各地に成長していった。海商(海賊)たちが上陸した海岸には、後に世之主の四天王となる豪族の先祖たちが割拠していた。

ネーキナにはグラルマグハチが、オキドマイにはニシミクニウチベーサが、

ユワヌハマにはヤジャマサバルが、そして、ワンジョーンにはクジャイヤタロウや畦布のヌルワカなどが、島を防衛しながら互いに競い合つてその勢力を伸ばしていくと考えられる。

14世紀になると、琉球の勢力が北上して、ヤマトの勢力とは異なつた、民俗文化を同じくする北山王国の領地に組み込まれたのであった。

北山王は与論島と共に沖永良部島を領有すると、当然年貢や特産物の献上を義務付けたはずである。また、当時の「まりごと(政)」は神々に祈ることが基本であつた。おそらく各集落には神女が定められて、シニグ祭りを行つたであろう。これが後世のノロである。

こうして、世之主の生母オキヌルは北山へ渡つたのであった。

和泊町歴史民俗資料館 先田 光演

## 一回 第3回 摺蕩いのアイデンティティ

ユワヌハマにはヤジャマサバルが、そして、ワンジョーンにはクジャイヤタロウや畦布のヌルワカなどが、島を防衛しながら互いに競い合つてその勢力を伸ばしていくと考えられる。



けいと  
西中間 啓斗くん(3才)

いつも笑ってよく食べて寝る! そんな啓斗くんは、人が好きで友達が好きでグミが大好き!

# 戸籍の窓

## 町の人口

※4月1日現在( )は前月比  
※外国人を含む

総人口:6,299人(-121) 世帯数:3,285戸(-33)

男 性:3,102人(-74) 女 性:3,197人(-47)

### 結婚

氏名	住所
村山 大樹・吉野 留理	瀬名・熊本市

### 出産

氏名	性別	保護者	住所
東 海璃(かいり)	男	雄太郎・紘未	出花
松山 立(りゅう)	男	大志・智里	喜美留
泉 柚葉(ゆずは)	女	亮輔・賀奈子	手々知名
福山 瑛大(えいた)	男	大洋・美保	喜美留
福島 ゆめ	女	一也・舞観奈	国頭

### おくやみ

月/日	故人	歳	住所
2/13	関口 澄義	78	国頭
2/14	森 茂文	77	畦布
2/14	村山 トシ	86	内城
2/23	上野 幸春	55	玉城
2/26	西田 保照	79	玉城

### おくやみ

月/日	故人	歳	住所
3/4	行田 チヅ	91	国頭
3/10	皆吉 つるよ	69	皆川
3/19	東 英子	91	和
3/28	永吉 美代子	89	畦布

### 香典返し

寄付者	故人	続柄	住所
菅村 寛仁	菅村 エイ	母	手々知名
宮田 憲一	宮田 イシ	母	畦布
森 恵登志	森 茂文	父	和泊
村山 智	村山 トシ	母	内城
上野 トシエ	上野 幸春	子	玉城
大坪 凉子	大坪 政美	夫	手々知名
東 智俊	東 英子	母	和
田畠 裕之	田畠 吉三	弟	根折

2021年2月1日から3月31日までの届けのうち、掲載依頼のあった届けのみを掲載しています。(敬称略)

# 編集後記

という気持ちは持っていたものの、特に決めた就職先もありませんでした。そのため、就職活動で苦労したことを覚えていました。「この会社だ!」と思い説明会に行つても、「なんだかイメージと違う」と悩むことも多く、いろいろな人に相談して就職先を決めました。

私が取材させていただいた市来さんにも、「仕事などを決める時に誰かに相談しますか?」と質問しました。「ほとんど妻ですね!」という回号から「編集後記」をはじめます。編集後記では、広報誌「わどまり」の制作の裏側などをお伝えしていきたいと思います。

初回ということもあり、まずは今まで取材や撮影などにご協力いただいた皆様に感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。2年間広報誌「わどまり」で皆様と携わり、快く取材や写真撮影に応じていただき、また取材の際には熱い想いなどが聞けて、こちらも「頑張らないといけない。」という気持ちに何度もなり、助けられました。

今後も更にパワーアップし、広報誌愛読者を増やしていくことが、私の目標です。

さて、今回は「いろいろな働き方」ということで、「仕事を選ぶ上で何が大切か」「島にはどんな仕事があるのか」知つてほしい気持ちで特集を組みました。私は、小さい頃から、楽してお金を稼ぎたい

新年度、進級や就職など新しい門出になる4月が始まり約1か月が経ちます。皆さんは良い新年度をスタートすることができますができたでしょうか?私は、企画課広報担当として、3年目をスタートすることになりました。そして、新たに今月号から「編集後記」をはじめます。編集後記では、広報誌「わどまり」の制作の裏側などをお伝えしていきたいと思います。

初回ということもあり、まずは今まで取材や撮影などにご協力いただいた皆様に感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。2年間広報誌「わどまり」で皆様と携わり、快く取材や写真撮影に応じていただき、また取材の際には熱い想いなどが聞けて、こちらも「頑張らないといけない。」という気持ちに何度もなり、助けられました。

今後も更にパワーアップし、広報誌愛読者を増やしていくことが、私の目標です。

さて、今回は「いろいろな働き方」ということで、「仕事を選ぶ上で何が大切か」「島にはどんな仕事があるのか」知つてほしい気持ちで特集を組みました。私は、小さい頃から、楽してお金を稼ぎたい

皆さんも新年度が始まり、上司などに相談したりすることもあると思うます。恐れず積極的に行きましょう!このような形で、これからも取材などの1コマを紹介出来たらと思います。広報誌の一つのコンテンツとして楽しんでいただけるような「編集後記」にしたいです。これからも温かい目で広報誌「わどまり」を読んでいただきますようお願い申し上げます。

会に行つても、「なんだかイメージと違います。」「この会社だ!」と思いつける人が多いです。

空き家活用をご検討されている皆さまへ

## 「和泊町空き家活用促進事業」 説明会のご案内

和泊町では、空き家の活用を通して移住・定住促進、  
集落活性化、産業振興等を図ることを目的に、  
この度「和泊町空き家活用促進事業」を設けました。  
この事業は、和泊町空き家バンクに登録された物件を対象に、  
空き家の貸主や借主などが住宅を改修するための費用に対し、  
補助金を交付する制度です。

事業募集に当たり、説明会を開催いたします。

**日 時 令和3年5月17日 17:30 - 18:30**

**場 所 和泊町役場1階「結いホール」**

\*電話での事前申込みをお願いします。

お申し込み・お問い合わせ：和泊町役場土木課 0997-84-3520

## 有料広告募集!

和泊町の広報誌「わどまり」に広告を掲載してみませんか？あなたのお店や会社、イベント等のPRには是非お役立て下さい！

- 掲載料(1枠あたり)：町内 15,000円 / 号  
町外 20,000円 / 号
- 掲載枠数：各号最大2枠
- 申込期限：発行日の1か月前まで
- 申込資格：「和泊町広告掲載取扱要綱」を遵守できる方
- 規 格：サイズ / 縦122mm×横92.5mm

※ 原稿は本媒体に適した形式及び解像度のデータを提出して下さい。

詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

### 【申込・お問い合わせ】

和泊町役場企画課 / TEL: 0997-84-3513

